

*パッドの過剰当て の改善

特別養護老人ホーム むらさき野苑
平成28年度

*研究メンバー

2階介護職員

- 志村敏充（リーダー）
- 西川祥司

1階介護職員

- 宮下里栄（リーダー）
- 伊藤竜也

『よりそっと』講師

- 山本正子様（おむつフィッター1級）

*1.研究前の状況

- ① アイテムのサイズが合っていない
- ② 夜間帯はインナーが一律
- ③ インナーの過剰当て
- ④ 尿路感染症状や皮膚トラブルが発生

* インナー：尿とりパッド

* アウター：テープ式オムツ、リハビリパンツ

*2.研究の仮説

仮説

- アイテムを見直すことで、利用者様の皮膚トラブルや尿路感染の予防をし、過剰当てによる不快感がなくなる。
- 職員の技術レベル向上に伴い、無駄や手間を減らす事が出来る。
- 過剰当てや無駄な手間が無くなることによりコスト削減に繋がる。

*3.研修目的

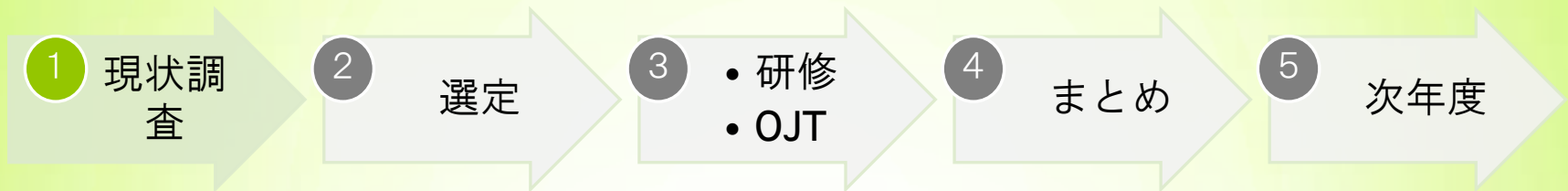
1. 施設の現場で、外部講師（おむつフitter）から知識や技術を学ぶ。
2. 排泄環境（アウターやインナー）の変更と過剰当てを減らし利用者の皮膚トラブルを予防。さらに無駄なコストを削減する。
3. プロジェクトメンバーが技術を他職員に教育することで、快適な環境を維持継続できる状況をつくる。

*4.計画概要

1. 対象者：排泄プロジェクトメンバー(4名)
2. 実施時期：4月～12月
3. 研究場所：施設内（現場・会議室）
4. 研究内容：
 - ① 現状調査
 - ② アイテム選定
 - ③ リーダー研修・OJT
 - ④ 問題の確認
 - ⑤ まとめ・講師育成

* 『OJT』：上司が部下に対して、知識、技術、職場における役割等を仕事の間を通して、“計画的”“継続的”“意識的”に指導、援助すること。

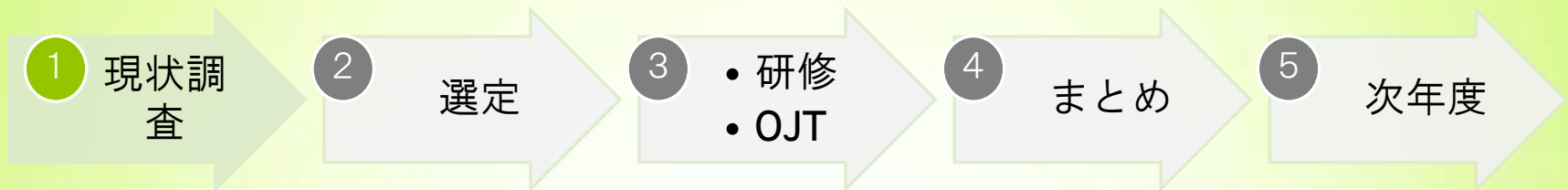
*5.取組内容



講師が現場を巡回

- *漏れる
- *アウターにしわが寄っている
- *アウターの腹部分を折ってサイズ調整している
- *拘縮がある方への技術が足りない
- *インナーを過剰に当てている

*5.取組内容



アイテム確認

- * アイテム使用状況一覧作成・確認

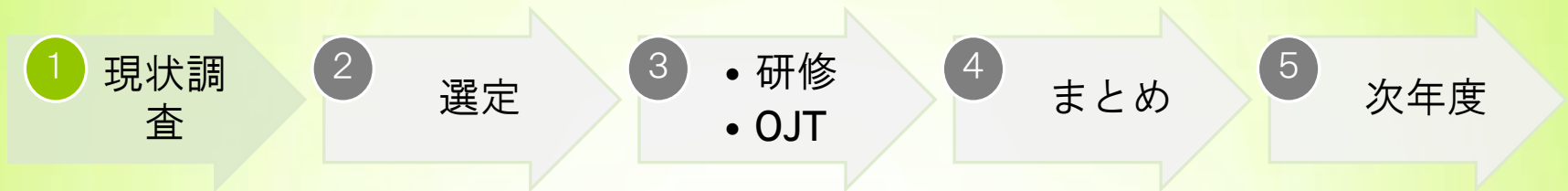
問題点抽出

- * インナー：過剰な重ね当て、尿量に合っていない
- * アウター：身体に合わないサイズを使用、装着方法の不備
- * 排泄チェック表：情報が現状に合っていない

尿測の計画を立てる

- * 5月22日～5月27日 19:00～翌5:00(夜間)
- * 1階：利用者全員 2階：7～8名ピックアップ

*5.取組内容



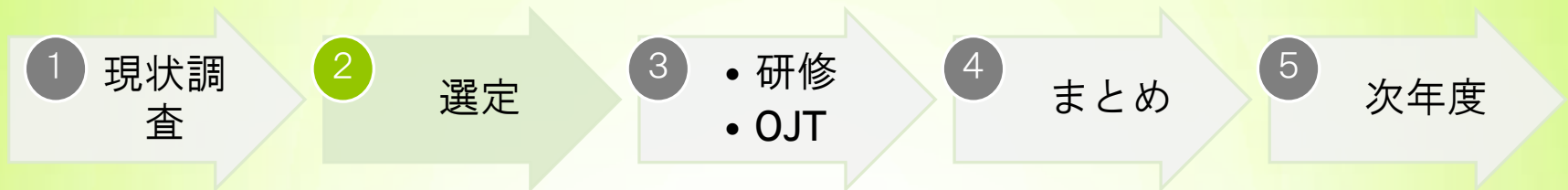
尿測実施 5月22日～5月27日

- *排泄チェック表を尿測用に修正
- *記入方法一覧表を作成
- *インナー毎のグラム表を作成

尿測結果を集計

- *「こんなにインナーを当てなくていいよね」
- *「両面いらないんじゃない？」
- *「一番大きなインナーが大きすぎる」

*5.取組内容



対象利用者選定

*尿測データを確認しインナーの変更

*800cc以上：多い人

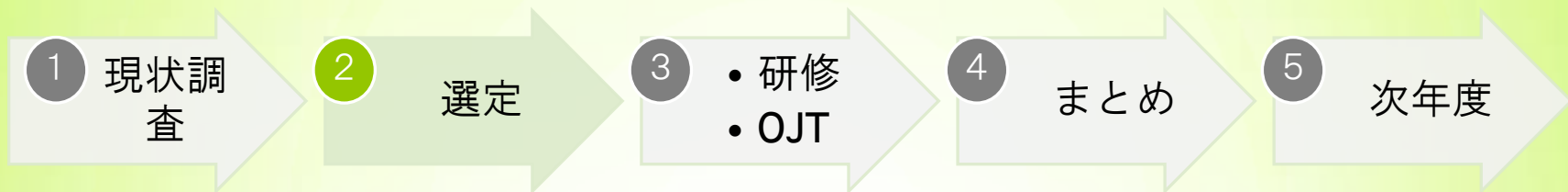
*500～600cc：中間の人

*500cc未満：少ない人

新しいアイテムの選定

*サンプル・モニター用紙を依頼
(3～5人/7日分程度)

*5.取組内容



*アウターのサイズの選び方

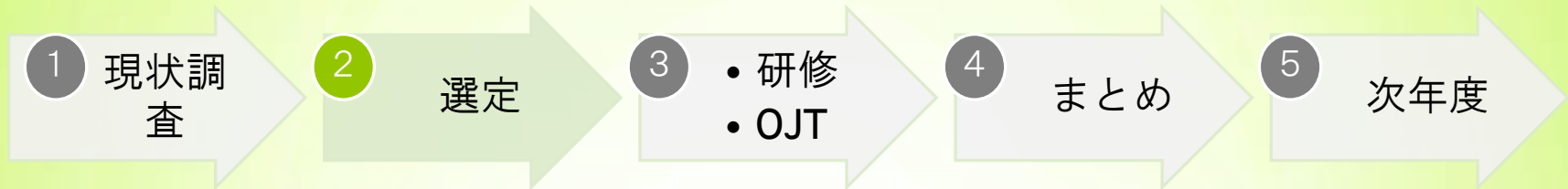
*正しい当て方

*装着体験（当てたまま30分間勤務）

*職員アンケート



*5.取組内容



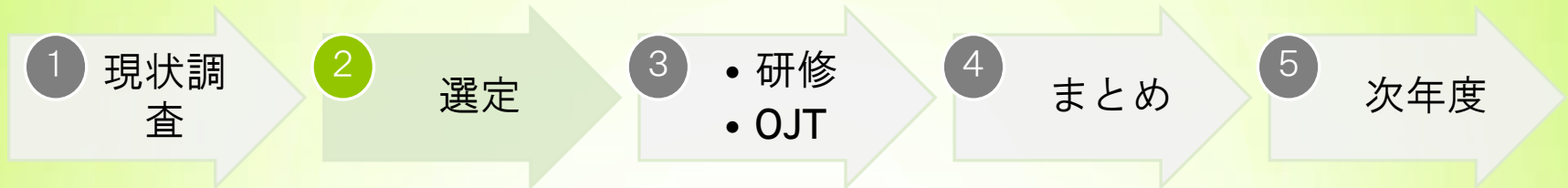
インナーの吸水実験

*200ccの人肌程度の湯を3回に分け吸わせる。

*吸収スピード、ウェットバック、感触など比較。



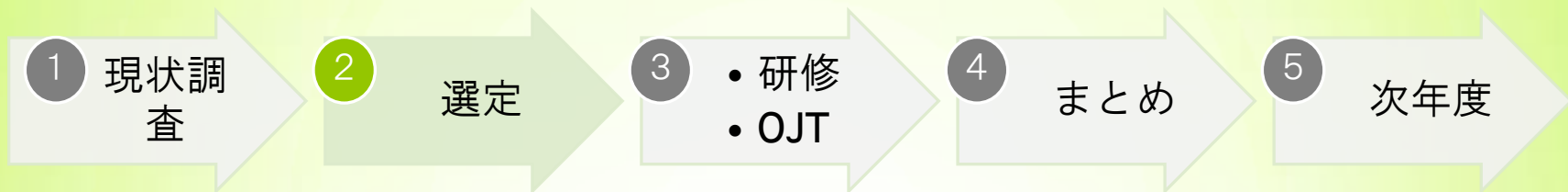
*5.取組内容



*吸水後のウェットバックや感触を比較。



*5.取組内容



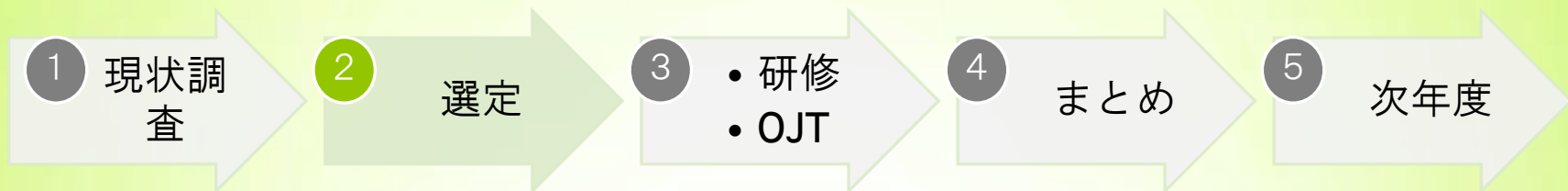
*吸水後の拡散状況を比較



*ギャザーの部分からの漏れを比較



*5.取組内容



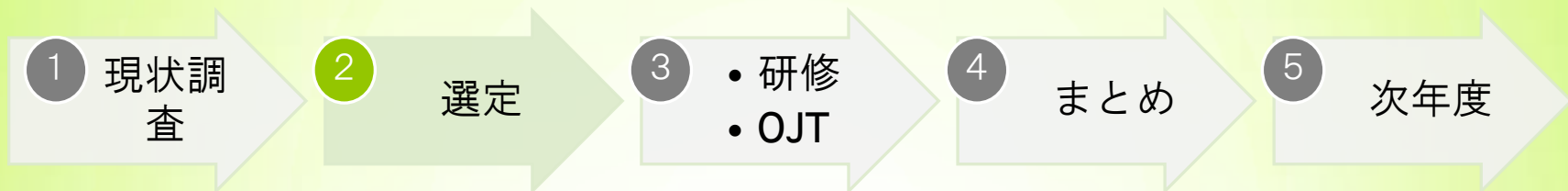
*吸水直後の透湿性を比較



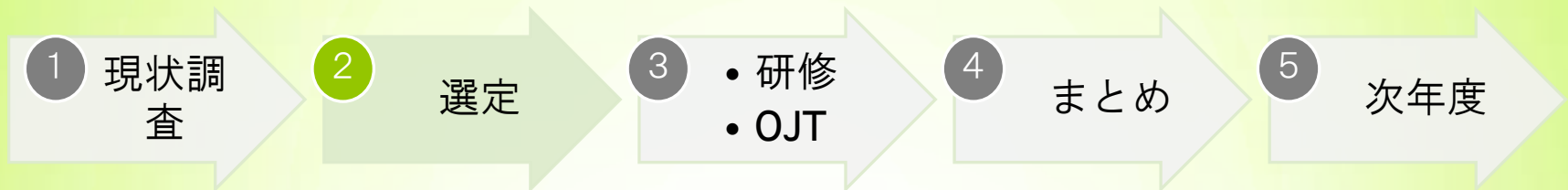
*折り曲げて吸水し厚みを比較



*5.取組内容

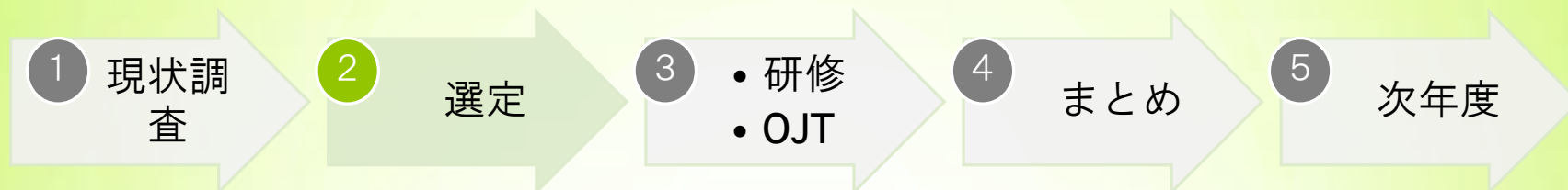


*5.取組内容



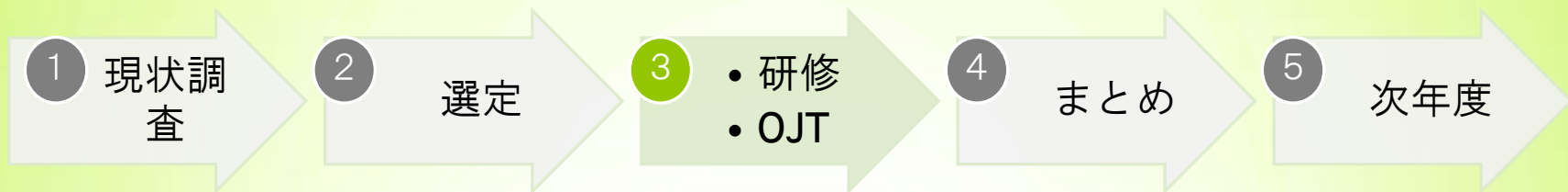
インナー	変更前	変更後
大	1 3 0 0	9 0 0
中	5 0 0	6 0 0

*5.取組内容



インナー	変更前	変更後
両面吸収タイプ	6 0 0	3 0 0
パンツ用	4 0 0	3 0 0

*5.取組内容



1. 当て方・サイズ選
定方法の指導

2. アイテム一覧表
作成

3. 1と2を他職員
へ伝達研修



*5.取組内容

1 現状調査

2 選定

3 研修
OJT

4 まとめ

5 次年度

Diapering check list

Murasakinoren

Diaper is always with unpleasant feeling even how good diapering is done, so try to give least discomfort feeling by good diapering. Diapering to be adjusted for each person, which pad to be used according to amount of urine/which diaper size to be used is different for body shape. Therefore let's try the best way for each person, the reasonable care, not habitual care.

<<Check: △ I do not know, ○ I can do it, ◎ I can explain.

In case diaper has tape tabs		
① Prepare diaper.		
② In case removable pad has standing gathers, make it stand.		
③ Unfasten the diaper tabs wide enough.		
④ Place removable pad inside standing gathers of diaper.		
Remarks : In case removable pad does not fit inside of standing gathers, do not force in.		
Remarks : Size M/small M are placed inside standing gathers, but not for size S.		
⑤ Insert tape tab under body.(Hipbone/spine need to be confirmed)		
Remarks :The back center under gathers of tape tab matches [the crossing point of hipbone and spine.		
⑥ Set body back to original place and tape both sides. Confirm the center aligned.		
Remarks : In case center is not aligned, fix it at this timing.(push the longer one and take out the other side.)		
⑦ Hold only standing gathers of pad, set it along groin.		
Remarks : When setting along groin, do one side and the other side not to drag in body part inside standing gathers.		
⑧ Fasten the diaper at both sides with the tabs. (wrap the pad with standing gathers)		
Remarks : Do not place your hand on stomach when you fasten the diaper because that's not comfortable		
⑨ fasten the lower tape on tab(the farther one from you)		

おむつの当て方チェック表

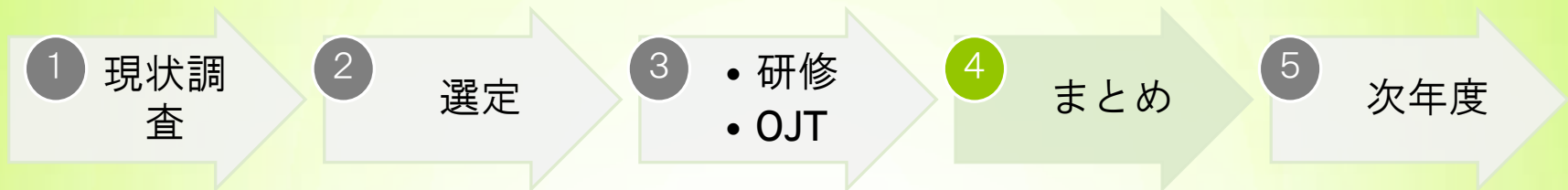
むらさき野苑

おむつは、どんなに上手く当てても不快なものです、少しでも不快の無いように当てましょう。当て方は、その方に合わせてですが、尿量によってパッドも違えば、体型によってアウターのサイズも違います。習慣的ケアでなく、その方に合った当て方、根拠あるケアを目指しましょう。

【チェック方法：知らない△ できる○ 説明できる◎】

テープ止めタイプの当て方		
① おむつを準備する		
② 使用するパッドに立体ギャザーがあれば立たせる		
③ テープ止めをしっかりと開く		
④ 立体ギャザーに使用するパッドを入れる		
注意：使用するパッドがテープ止めの立体ギャザーに入らない場合、無理に入れない		
注意：M 小M は立体ギャザーの中に入れるが S は入れない		
⑤ テープ止めを差し込む(腰骨、背骨を確認する)		
注意：腰骨のラインと背骨のラインがクロスした箇所にてテープ止めの真中心のコムドを合わせる		
⑥ 体を戻し両側からテープを当て、中心に当たっているかを確認する		
注意：中心がずれていたら、この時点で直す(長い側を寄せ反対を出す)		
⑦ パッドの立体ギャザーのみを持って鼠蹊部に沿わせる		
注意：鼠蹊部に沿わせる時、ふくよかな方など皮膚を巻きこまない様に片方づつ当てる		
⑧ テープ止めを当てる(立体ギャザーを持ちパッドを包み込む)		
注意：テープ止めを当てる際、不快であるためお腹に手を置かない		
⑨ テープ止めのテープは下からとめる(自分から遠い側からとめる)		
注意：下のテープは足の曲がりを阻害しないように下から上に斜め止め		

*5.取組内容



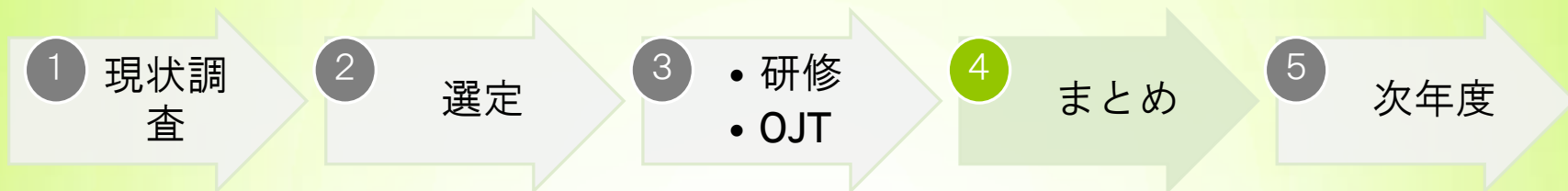
成果

- *講師を依頼し専門的な知識が得られた
- *尿量の測定やアイテム変更ができた

今後の課題

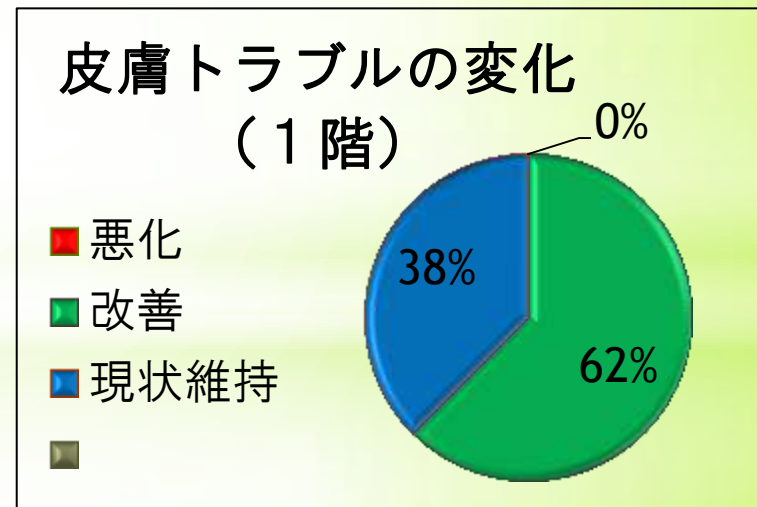
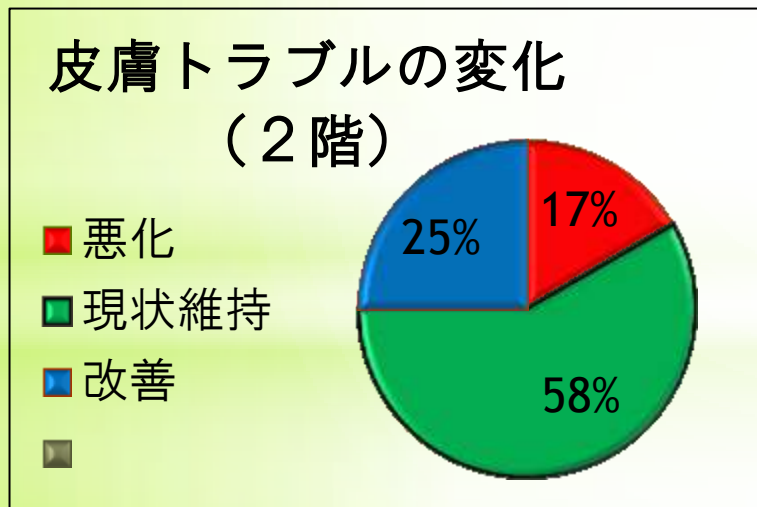
- *排泄介助の回数や時間
- *利用者様の姿勢の工夫
- *栄養状態の改善
- *今後の排泄アイテムの管理方法が決まっていない

*5.取組内容

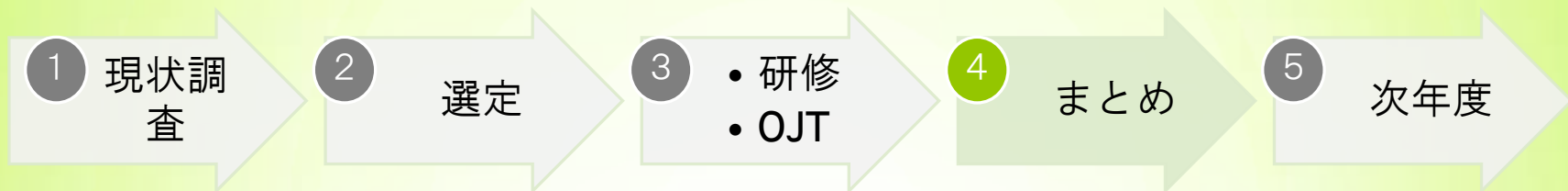


利用者様の変化や影響

*利用者様の皮膚トラブルが減った

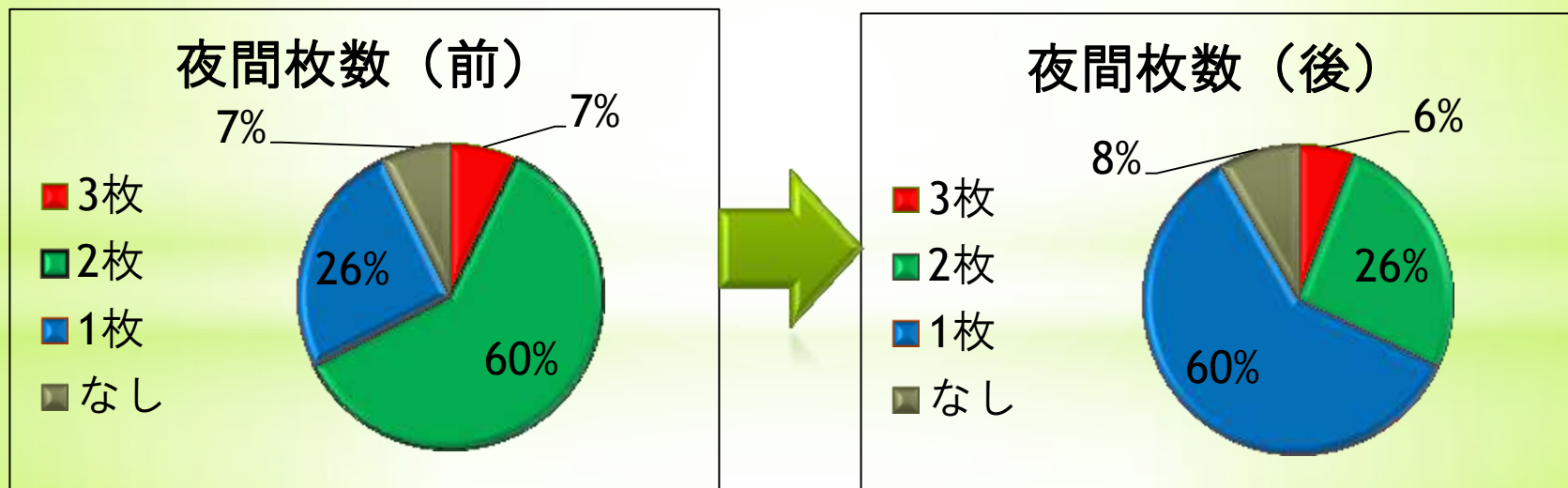


*5.取組内容

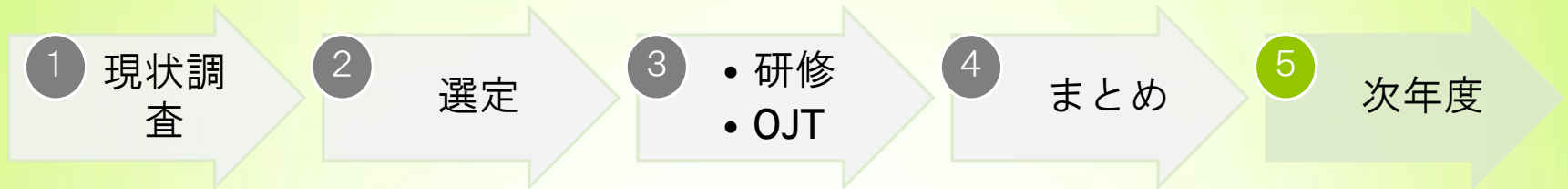


職員の变化や影響

*個別のパッド選定を考えるようになった



*5.取組内容



利用者様の快適を維持・継続できる状況をつくる

*他職員に技術を教育することができる人材を育成するために、同講師にOJTを依頼し平成29年度研修計画に

*ご清聴ありがとうございました